



# 日進中だより

学ぶ生徒 誠実な生徒 鍛える生徒

令和6年 1月 9日  
第 11 号  
さいたま市立日進中学校  
TEL 048-663-1251  
FAX 048-663-0834

## 『初日の出』

校長 小熊 誠

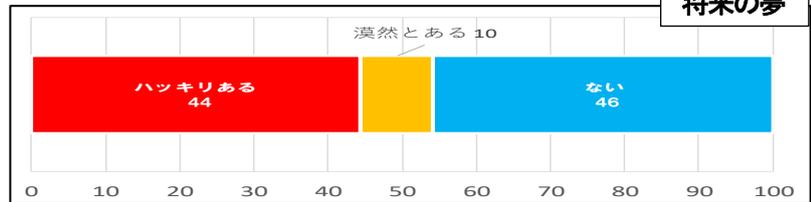
令和6年元旦、今年も大きな青空の広がる穏やかな年明けとなりました。まずは、無事に新しい年を迎えられたことに感謝です。そして、保護者・地域の皆様を始め、日進を愛し、携わってくださっている全ての皆様に感謝です。しかし、広く世界に目を向けてみると、相変わらず収まる気配のないロシアやイスラエルの紛争、そして、年明け早々に起きた能登半島地震、羽田空港の事故と本当に辛い出来事も続け様に起きています。被害に遭われている皆様や関係者の皆様の心身の回(快)復や、日常生活の復活を心から願っています。日進の生徒たちの笑顔が、少しでも世界に元気を与えてくれることを信じています。



さて、この年末年始は、いよいよ始まってしまった我が息子の反抗期と正面から向き合い、じっくりと「話し合う」ことを目標にしていました。チャンスは、元旦「初日の出」にありました。息子と2人で初めて見る「初日の出」です。見に行く場所までの移動時間・日が昇るまでの待ち時間が貴重な時間となりました。令和5年、高校生となった息子は、昨年1年を「忙」という漢字1文字で表しました。1番忙しく感じ、今だにしっくりきていないのが、電車通学だと話し出しました。保育園・幼稚園はスクールバス、小・中学校は近所で徒歩、他の移動手段もほとんどが徒歩と自転車だった息子にとって、毎日時刻表を確認し、重い荷物を持っての満員の電車での通学は、かなりのストレスだったようです。また、思ったよりもはるかに進むのが早い高校の授業と、日々の課題の多さ、100人を超える部員のなかでの部活動、目まぐるしい毎日を送っていたことがわかりました。私は息子に、そんな忙しい毎日を送っている学校は、「楽しいか」「好きか」と聴きました。息子は、間髪入れずに、「毎日充実していて楽しいし、学校は大好き」と答えてきました。かなりホッとした私は、「今年の目標は？」と聴きました。息子は、少し考えた後に「学校」と答えました。息子は、「電車通学も授業も課題も部活も全て含めて、『学校』を頑張るんだ」と、「小・中学校も大好きで楽しかったから、高校も、もっと楽しく、もっと大好きになるように、『学校』全部頑張るんだ」と話してくれました。なんだか嬉しくなったきた私は、「将来の夢」についても聴きました。息子は、「サッカーに携わる仕事をしたい。できれば、教えたい。『先生』も有りかな？」と答えました。あんなに毛嫌いしていた、「先生」に興味を持ちだしてきたことに、驚きとほんのチョットの喜びを感じました。年の初めから、息子と腹を割って話し合う時間をくれた「初日の出」に感謝です。皆様、お子様と「話し合い」をするのに、環境を変えてみるという方法は、かなり有効かもしれません。是非試していただければ幸いです。

もう一つ「将来の夢」についてお伝えしたいことがあります。それは、10月2日から

始めた3年生一人ひとりとの面談についてです。何とか終盤に近づいてきた面談の中で、私が息子とも話し合った「将来の夢」についても話題にしています。今年の3年生、「ハッキリとある」と職業名まで答えた生徒が、44%と昨年より約10ポイントも多い結果(右上グラフ)となりました。この2年間取り組んでいるキャリア教育の成果の一つかもしれません。



その中でなりたい職業ベスト2が、**1. 先生 2. 医療関係者**でした。「日進の先生のようになりたい」と答えてくれた生徒が多かったことに心からの喜びと共に重責を感じました。また、医療関係者という答えが多かった背景には、やはり新型コロナウイルス感染症の影響を強く感じました。面談の詳細については来月号に掲載予定です。楽しみにしてください。

最後に、今年も仕事始めの1月4日に、教頭と本校の屋上に上がり、そして地元の氏神様である「日進神社」にも参拝し、今年の祈願と決意表明をして参りました。皆様今年もどうぞ、より一層の御理解と御協力、そして御支援をよろしくお願いいたします。

希望の登校 笑顔の活動 満足の下校